

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

洲本市立大野小学校（兵庫県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 児童一人一人の学びを見取り、適切なフィードバックを。

<考察>

①自分の学習課題の設定

本時の全体の学習課題をうけて、自分の学習課題を設定する。

→入力された課題を見ながら、教師が他の児童へ広げる。児童は、他の児童の課題に対してコメントをつける。

⇒他の児童からの肯定的なコメントによりやる気がアップする。

②児童への助言

それぞれの課題について調べている児童へ、何をしているのかを聞き取り、次に追及する内容の提案をする。

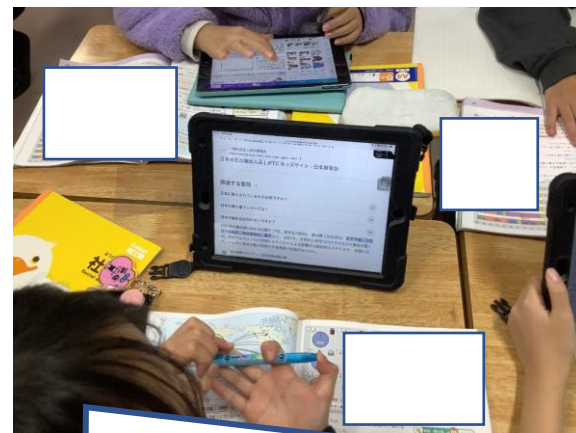
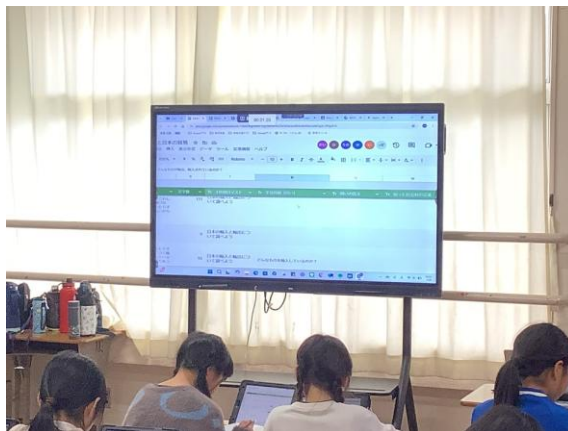
③途中経過から課題の深まりへ

児童の調べ学習の途中経過の発表（どうやって調べたか、調べて分かったことや考えたこと）を受けて、これからさらに調べるべきポイント（曖昧こと、分かっていないこと）を絞って提案する。

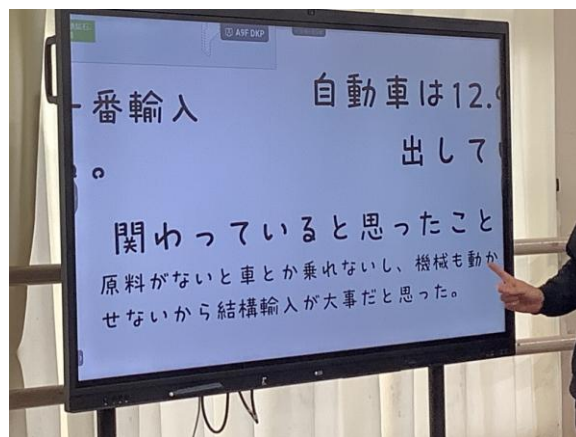
④生成AIを活用してまとめ

児童が入力した振り返りを生成AIを使って評価させる。その評価を見ながら、評価された項目を自分は書いていたのか、児童一人一人に返すように問いかける。

⇒児童は、自分の成果を実感することができ、どの部分が自分は評価されたのかを考える。



「何を調べているの?」「何か分かった?」と問いながらの机間巡視と児童が入力しているシートを見ながら、児童の進捗状況を把握。



児童の発表に関してやり取りをしながら、「分かったこと」「分かっていないこと」「曖昧なこと」を再認識させ、さらに調べたり書き込んだりする内容をブラッシュアップする。